

発注者からみたIT技術活用の現状と課題

令和元年11月1日(金)
本間淳史

あなたに、ベスト・ウェイ。



- 生コンクリートの品質管理
 - スランプ, 温度 etc.
- トレーサビリティの確保
 - 打込み場所
 - 打込み時刻 etc.
- コンクリートの出来形管理
 - 仕上げ高さ
 - 充填確認 etc.



生コン工場



■ 舗装工事の例

- GPSにて施工箇所を管理
- 締固め場所, 回数, 仕上げ高さ …… 施工漏れがない
- すべてのデータが一元管理



書類作成の省力化



プロの作業員の高齢化・引退



若手作業員の育成・技術の伝承

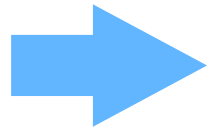
若者を育てている余裕はない???

夜間工事・集中工事の増加



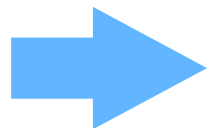
いかにリスクを回避するか

機械化・自動化の普及・促進



施工者のメリット

- ✓ オペレータが楽になる
- ✓ ヒューマンエラーが無くなる
- ✓ 品質管理が均一化される
- ✓ 書類作成の省力化

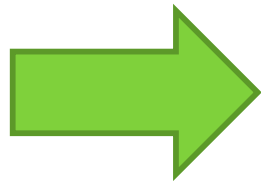


発注者のメリット

- ✓ 監督が楽になる
- ✓ 施工ミスに対して神経を尖らせずに済む
- ✓ 人的リスクが減る

ITで品質は良くなるか？

ITに期待される役割



現場における負の課題を解決する

- ✓ 品質管理に十分な人員が配置できない
- ✓ 品質管理の出来る技術者が足りない
- ✓ 不具合, 不良が見落とされない
- ✓ 書類の不備がなくなる etc.

本来あってはならないこと
が発生しない



品質の向上